

高まる排外主義と闘い、 人種差別撤廃法・外国人人人権基本法を実現しよう！

参議院選挙（7 月）の選挙ヘイト以降、政府、政党、地方議会等、公が外国人バッシングを競い、日本社会には無知と偏見による差別デマに乗った移民反対を叫ぶ暴力的なヘイトデモが拡散しています。

ヘイトスピーチ、ヘイトクライムが横行し、マイノリティは日常的に恐怖の下に置かれています。差別反対の声に「〇〇人」「非国民」とのレッテルが張られ、スパイ防止法制定までもくろまれ、民主主義が破壊されつつあります。

排外主義を阻止し、誰もが人として尊厳をもって共に生きる多民族・多文化共生社会を実現する土台として、今こそ外国人などマイノリティの人権を保障する基本法および人種差別撤廃法・条例などの人権法制度が必要です。その実現に向けて声を、力を合わせましょう。

本シンポジウムがその一歩となるよう、皆さんの参加を呼び掛けます。

日 時： 2025 年 12 月 13 日（土） 午後 2 時開始（開場 1 時 30 分）

場 所： 在日韓国基督教教会館（KCC） 大阪市生野区中川西 2-6-10

（地下鉄今里駅下車 南へ徒歩約 15 分）

参加費： 1000 円（人権法連絡会会員は 500 円）

（※参加希望の方は裏面の QR コードで事前にお申込ください）

◆ プログラム ◆

基調講演 排外主義との闘い～多民族多文化共生社会の基盤としての
人権法制度の確立をめざして(仮)

丹羽雅雄さん（外国人人人権法連絡会共同代表・弁護士）

報 告① 排外主義との闘いの現場から～メディアの役割

石橋学さん（神奈川新聞記者）

報 告② 人種差別撤廃法案・外国人人人権基本法案の提案

師岡康子さん [外国人人人権法連絡会・弁護士]

【シンポジウム】

排外主義といかに闘うか - 人種差別撤廃法・外国人人人権基本法及び条例の意義

中村一成（ジャーナリスト）／ 小森恵（反差別国際運動）／ 石橋学（神奈川新聞記者）

韓雅之（在日コリアン弁護士協会）／ 師岡康子（コーディネーター・外国人人人権法連絡会事務局長）

外国人権法連絡会とは

日本政府は人種差別撤廃条約をはじめ国際人権条約に加入しているにもかかわらず、在日外国人の人権をめぐる「出入国管理および難民認定法」など管理法はありますが、差別を禁止し、人権を保障するための法制度がほとんど整備されていません。

こうした状況を変えて多民族多文化共生社会の実現をめざし、2005年12月に「外国人・民族的マイノリティ人権基本法」と「人種差別撤廃法」の制定、「国内人権機関」の実現をめざす弁護士、研究者、市民のネットワークとして外国人権法連絡会が設立されました。外国人権法連絡会ではヘイトスピーチ、ヘイトクライム対策を求める国会議員へのロビー活動や、外国人権基本法、差別禁止法などをテーマにした各種セミナーや集会などを開催しています。また毎年『外国人・民族的マイノリティ人権白書』も発刊しています。

人種差別撤廃法モデル案 ガイドブック

外国人権法連絡会
「人種差別撤廃法」モデル案作成プロジェクトチーム



外国人権法連絡会

2025年7月に発刊した『人種差別撤廃法
モデル案ガイドブック』

【プレ企画】

多民族多文化共生の学び～大阪コリアンタウンフィールドワーク

近年、大阪コリアタウンは多くの人でにぎわう大阪でも有数の観光スポットとして脚光を浴びています。一方で、ここは朝鮮植民地時代から移り住んできた在日朝鮮人の暮らしが根付いた場所でもあります。

シンポジウムに先立って、以下のとおり大阪コリアタウンの歴史といまを学ぶフィールドワークをおこないますので、ご希望の方はQRコードからお申込ください。

日時：2025年12月13日（土）10時30分～12時00分まで

場所：JR大阪環状線鶴橋駅中央改札口に10時20分までに集合

定員：30人（シンポジウム参加者限定）／参加費：500円

案内：特定非営利活動法人 コリアNGOセンター

◆主なコース：鶴橋駅周辺の国際市場～御幸森天神宮～大阪コリアタウン～いくのコーライブズパーク、他

シンポジウム・フィールドワーク

参加申込用QRコード



外国人権法連絡会

Japan Network towards Human Rights Legislation for
Non-Japanese Nationals & Ethnic Minorities

TEL & FAX : 03-3200-8556 / e-mail : info@gjhr.net